

フィジカルイグザミネーション練習用ウェア

元基礎看護学 鷹居樹八子、基礎看護学 岡田なぎさ 他

利用分野

医療現場においては、フィジカルイグザミネーション（触診、打診、聴診、視診）を通して、患者の症状の把握や異常の発見等が行われる。この手技を効果的に習得するために看護教育現場等で使用される教材用ウェアである。



シーズ

前カバー及び後カバーよりなるフィジカルイグザミネーション練習用ウェアは、着用者の体格に応じて適当な重なり量を調整して、人体に密着させることができるだけでなく、半透明であるため身体形状が外観から認識しやすく、基準線等も市販のクレヨンで容易に記入ができるディスプレイ教材である。

ニーズ

従来の教育では、学生がTシャツを着用し、Tシャツにビニールテープを貼付して、基準線・基準点の位置の確認を行った後、フィジカルイグザミネーションを実施していた。しかし、身体に密着していないため、基準線・基準点の正確な位置の確認が難しく、加えて正しいフィジカルイグザミネーションが行いにくいいため打診音や触診の感触が得られにくく、技術の習得に至らなかった。



連携分野

すでに商品化されており、看護系教育機関で使用されている。現場の声を拾い上げながら、よりよい教材を全国に普及させるためのパートナーを希望する。

知財保護

特許第6366175号



基礎看護学では、
かけがえのない
「命」を守るため
に看護の基礎を教
えているんだ



本学マスコットキャラクター
ラマティ



産業医科大学 産学連携・知的財産本部
〒807-8555
福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号

問い合わせ先: 研究支援課
TEL: 093 (280) 0532
FAX: 093 (691) 7518
E-mail: chizai@mbox.pub.uoeh-u.ac.jp